

<2007年花芽観察会 報告書>

1月28日(日)の花芽観察会ご苦労様でした。ご報告をいたします。



1) 概要:

AM 10:30~12:00

石井樹木医による桜並木での花芽観察

PM 1:00~3:00

石井樹木医の講評と「くにたち桜守」との意見交換会

<来訪のグループ>と出席者人数:合計39名(内12名交換会出席)

- ・上北沢桜並木会議 会員 16名
- ・くにたち桜守 3名
- ・烏山ねっとわーくショップ、芦花公園花の丘友の会 10名+9名児童
- ・世田谷区公園課 1名



2) 内容:

花芽観察会は、最高気温11度の花曇の日に行われました。真冬にしては暖かく10時頃から花芽観察をしようと心待ちにしていた住民の方々が集まってきました。やがて、開始までには「くにたち桜守」や「芦花公園花の会」の子供たちも集まり、30名を超えて活気あふれていました。

一方区民会館会場では、忙しくて観察会には参加できないが、事前の準備のためにだけならお手伝いできるという会員の方々が集まり、桜維持管理の展示だけでなく、上北沢の歴史やTシャツ、絵葉書の展示も行われました。

●花芽観察の内容:

- ・樹木No.50-47--幹が腐朽し始めるとなぜ太くなるのか。
- ・花芽の付かない枝とその原因を持つ幹や根の見極め方。
- ・理想的な枝の切り方と桜でもなぜ枝を切らなくてはいけないのか。
- ・胴巻きの効果と不定根の成長。
- ・花芽と葉芽の区別。
- ・木を腐らせる菌(キノコ)や木の根と共生する菌(菌根菌)。

●交流会

- ・上北沢桜並木会議の活動と上北沢の歴史の説明 和田、佐藤
- ・くにたち桜守の活動 中原さん
- ・石井樹木医による桜を食べる毛虫、毒のある毛虫の見分け方